学びの広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会

●公民館活動　●生涯学習
●文化振興　●学校　●スポーツ

放て！言の葉　響け！魂
～高校生書道パフォーマンス＆現代詩のつどい～

「高校生書道パフォーマンス＆現代詩のつどい」が２月８日に交流センターで開かれ、見物人は高校生による迫力のある書道パフォーマンスや、詩の朗読を通して言葉の世界を楽しみました。

秋田北鷹高校、大館鳳鳴高校、能代松陽高校３校書道部によるパフォーマンスでは、音楽に合わせて、縦４～５m、横５～７mの大きな紙にエネルギッシュに筆を走らせ、見物人から盛んな拍手が送られました。また、詩の朗読では、合川北小学校６年生、鷹巣朗読ボランティアやまびこ、秋田県現代詩人協会員らが、情感豊かに詩を朗読し、今年開催される国民文化祭の気運を高めました。

▲大きな拍手が送られた書道パフォーマンス

小正月行事が15年ぶりに復活
～葛黒火まつりかまくら～

葛黒集落の小正月行事「葛黒火まつりかまくら」が２月16日に行われ、市内外から500人以上の見物人が訪れました。

この行事は、稲わらや豆殻をくくり付けた御神木に火を点けて燃え上がらせ、「ウワー、かまくらの権五郎」と叫び無病息災や五穀豊穣、無火災を祈願するものです。平成10年に途絶えていましたが、文化財などを活かして地域活性化に取り組んでいる「おさるべ元気くらぶ」の協力を得て復活しました。

当日は、地元の鷹巣南小学校の全校児童、鷹巣南中学校の生徒、ボランティアなども協力し、15年ぶりの行事に盛り上がりました。

▲無病息災や五穀豊穣、無火災を祈願

歌声あふれる学習会
～合川ことぶき大学「冬期学習会」～

合川ことぶき大学冬期学習会が、１月29日に合川公民館で開催され、45人の学生が参加し、歌を通した学習を楽しみました。

はじめに北秋田市在住のシンガーソングライター・本城奈々さんが、今年開催される国民文化祭に向けての講話とミニコンサートを開き、「バターもちのうた」やオリジナル曲などを披露しました。

続いて、合川東小学校歌声クラブの児童と、コールつくしんぼによる合唱が行われ、手話を交えながら心を込めた歌声が響きわたりました。合川東小学校の校歌を聞き、自分でも口ずさみながら昔を懐かしむ学生も多くいました。

▲ステージ上の児童と紙テープでつながる学生

書道パフォーマンス作品展示

問申 生涯学習係☎62-1130

２月８日に行われた高校書道パフォーマンスの作品を展示します。

期間　３月５日(水)～10日(月)
場所　中央公民館ホール

合川公民館公開講座「第３回合川ろばた講座」

問申 合川公民館☎78-2114

市民公開講座「合川ろばた講座」の３回目を開講します。皆さんお気軽においでください。

日時　３月12日(水)13時30時～15時
会場　合川農村環境改善センター
演題　「中世における阿仁」
講師　合川地方史研究会
　顧問　福岡龍太郎 氏
参加費　無料　※申し込み不要

森吉公民館公開講座「鳥居先生のハートフル講話会」

問申 森吉公民館☎72-3259

日時　３月14日(金)14時～15時30分
会場　森吉コミュニティセンター
テーマ　「わかち愛のこころとご近所力を確かめる」
講師　鳥居一頼(とりいかずより)氏
　(地域福祉アドバイザー)
参加費　無料　／　**定員**　50人

綴子公民館公開講座

問申 綴子公民館☎62-1472

○ちりめんで作る干支の馬
期日　３月９日(日)、16日(日)
時間　９時30分～11時30分
会場　綴子公民館
講師　菊池洋子 氏
材料代　1000円
定員　15人
持ち物　裁縫道具、筆記用具

○綴子の歴史を語る会
期日　３月９日(日)
時間　13時30分～16時
会場　綴子公民館
講師　藤島康一 氏
参加費　無料　／　**定員**　15人

浜辺の歌音楽館少年少女合唱団スプリングコンサート

問申 浜辺の歌音楽館☎72-3014

郷土出身の作曲家・成田為三先生の作品を中心に、いろいろな曲を歌い、活動している合唱団の春のコンサートを開催します。

皆様お誘い合わせのうえ、おいでください。

期日　３月29日(土)
時間　開演13時30分
会場　浜辺の歌音楽館
入場料　無料

ふるさとの文化財――72

北秋田市指定無形民俗文化財（民俗芸能）

○「荒瀬獅子踊り」

◇所在地　北秋田市阿仁荒瀬
◇管理者　荒瀬獅子踊り保存会

〈内容〉
大名行列を模したものに獅子舞を組み合わせています。女獅子をめぐって二頭の雄獅子が争う姿を演じますが、獅子踊りのほかに、ぶっこみ、棒、駒、道化万歳がついています。

〈起源〉
秋田佐竹の殿様の参勤交代の道中に踊るとともに、先祖の霊を慰めるために踊ったと言われています。（火災のため資料を消失）

天保大飢饉以降は一時中断していましたが、明治25年（1892年）頃に再興し、保存会が結成されて現在に至っています。

〈構成〉
道護（サシモ）は大名行列を模したもので、行列で行進しながら踊ります。「ぶっこみ（大名行列）、獅子踊り、棒術、道化万歳」の順で演じています。

◇毎年８月13日公開（墓地、集落内で演ずる）。北秋田市民俗芸能大会、秋田県民俗芸能大会に出演、市内地域行事への参加のほか、阿仁中祭での郷土芸能発表に協賛。
▽平成７年３月６日指定文化財
▽資料／北秋田市教育委員会作成資料、「広辞苑」、保存会聞き取りほか
▽紹介者／北秋田市文化財保護審議会委員　照内捷二

▲荒瀬獅子踊り

○北秋田市民俗芸能大会
　芸能を一同に集めて市民に公開することで、民俗芸能への理解と関心を高め、振興及び保存と伝承につなげることなどを目的として毎年実施されています。

○北秋田市の伝統芸能
　市内で最も広く伝えられている芸能は、獅子踊り、駒踊り、奴踊りです。由来はほぼ共通していて、佐竹侯が常陸から秋田へ国替えされたとき、家臣が君主を慰めるために考案された道中芸がルーツとされています。